

主催イベント報告・活動報告(4期目)

政治家になり、常に思うことは
「多くの方の意見を聞き政策に活かしたい!」
「さまざまな課題を議論したい!」

そんな思いから毎年イベントやシンポジウムを開催しています。



2019年以降のイベント

2019年 8月22日(木)「SDGsで長崎を育むフォーラム!」
10月27日(日)「国旗と国歌で国際理解を深めよう!」

2020年 2月2日(日)「宗教フォーラム」
8月9日(日)「原爆投下・終戦から75年
いま、長崎で平和を考える。」
2月24(月)「井上 あずみファミリーコンサート」(15年間連続開催)

2021年 8月9日(月)「Pray for Peace Collection 2021 in 長崎」
10月17日(日)長崎開港450周年記念講演・シンポジウム
「新しい長崎の街・歴史の始まり」

2022年 8月9日(火)「Pray for Peace Collection 2022 in 長崎」
11月5日(土)「世界に飛び出す第一歩」



プロフィール

1966年(昭和41年)9月12日生まれ)
皓台寺幼稚園、小島小、小島中、県
立長崎南高等学校、活水短期大学
英文科卒業 /
法政大学大学院政策創造研究科
修士課程修了 / (株)エフエム長崎
入社 / 1992年上京。2000年(有)
アップトゥーユー設立(ラジオ番組
制作、イベント企画会社)

長崎県議会議員(4期目)

- ・ 議会運営委員会委員長
- ・ 予算決算委員会委員長
- ・ 監査委員
- ・ 総務委員会委員長 を歴任

長崎商工会議所青年部 OG
日本JCシニアクラブ 会員
一般社団法人 長崎青年協会 OG
公益社団法人 東京青年会議所 特別会員
表千家同門会 長崎県青年部 元副部長
桜花遠州流 華道家元 顧問
ガールスカウト 長崎県第八団 副団員長
長崎県生麺協同組合 顧問
長崎県ダンススポーツ連盟 顧問
長崎県テコンドー協会 顧問
長崎中央リトル・シニア 顧問
長崎少年ソフトボール協会相談役
長崎県ブラインドサッカー協会理事
吉田麻也長崎後援会役員

浅田ますみ後援会事務所

〒850-0861 長崎県長崎市江戸町 5-8 一ノ瀬ビル 601号
TEL : 095-821-2706(代表) FAX : 095-821-1924
E-mail : info_asada@asada-masumi.com
<http://asada-masumi.com>

浅田ますみ

長崎を育み、未来を創る



自由民主党

ASADA MASUMI 2023



WEB



Facebook



twitter

WEBサイト・SNSでも
活動報告をしています!



討議資料

浅田ますみの決意

闘うことを、挑戦を、 私はやめません。

闘う心を持ち続けられるのは、長崎の皆様の想いを形にし、生活と未来をしっかりと守り、未来を創ってきたいからです。今の長崎は人口減少、急速な高齢化に加え、新型コロナウイルスにより当たり前の日常さえも失った約3年間。長崎が疲弊することを止めるには、行政と共に協力し事業展開を図り、議員として、しっかりとしたチェック機関としての役割を果たすことが重要です。だからこそ、長崎の未来を創るために闘う姿勢を貫き通します。



育む策



人を育む

長崎の未来を、日本の未来を守り創るためには、何よりも「人」が大切。長崎を想う心を持ち、日本を守るという国家観を持つことが、今の時代、とても重要なことだと思います。厳しい時代を生き抜く力、スピーディに時代を走り抜く力、誰ひとり取り残さないという寄りそう力、優しさを併せ持つ力のある人になれる人を育むことに力を注いで参ります。

街を育む

人にやさしい長崎の街：子どもも高齢者も障がいのある方も、だれもが安心して笑顔で暮らせる長崎をつくっていきます。ここ近年は、長崎は大きな変革期であり、街並みも変貌を上げています。交通インフラ整備の促進と県庁跡地の暫定供用後こそ、しっかりと地域発展に繋がるように更に力を注ぎます。また長崎港から浦上川の活用も長年訴えていることであり、港から新たな長崎が始まると思います。

幸せを育む

医療や福祉が充実した環境づくりによって、子育ての応援支援を行い、子育てのしやすい街を実現します。それが人口減少問題にも寄り、高齢者の方にとっても暮らしやすい街になります。保育園などの理事も務め、子育て世代に寄り添った政策、保育士不足解消に尽力し、福祉の世界に携わらせていただいているものとして、在宅医療、介護人材不足解消などにも全力を尽くします。

文化を育む

唯一無二の歴史を誇る長崎ならではの文化をしっかりと育み、発信していくことが大切です。二つの世界遺産をはじめ、和華蘭文化といわれる様々な国の文化が重なり合ったことで生まれた街並み、お祭り、郷土料理は、多くの人々を魅了できる力があります。アフターコロナを見据え、改めてインバウンド対策も力を注いでいきます。エンターテインメント業界にも携わってきたものとして、長崎から新たな発信をしてまいります。

希望を育む

コロナ禍のもと、企業や地域にも様々な影響が及ぼされました。今後は県としても経済安全全保障を強化することが求められ、何よりも県民の希望をうむことにつながります。地場企業の活性化、雇用の場の拡充、大切な農水産業をより成長させるように努力します。若者、女性の希望を育むことこそ、長崎の活力をあげ、未来につながります。

長崎を育む

ふるさと長崎を、誇れる街であり続けるようにすることが大切です。常に想っています。五年前から長崎版のSDGsのあり方を提案し、様々な形で取り入れられています。「活用、長崎のデジタル変革促進」の実現に向けて提案していることも、未来の長崎を確かなものとして伝えていきたいの思いがあるからです。今後、これまでの経験を生かし、長崎の未来を創って参ります。



〈介護の現場にて〉

今期の大半は新型コロナウイルスで、人に会う機会がほとんどなくなっていました。そこで、2020年12月～2021年9月まで週に1度学校に通って、介護職員初任者研修と実務者研修を受講。2021年12月から週一程度ですが、現場で働かせていただいています。

長崎での在宅医療に興味を持ったことや若い世代の介護者を守るためであり、今後しっかりと取り組んでまいります。

〈インターン生と共に〉

私の議員活動をスタートさせてから大事なものの一つに年に2回、大学生のインターン生を受け入れること。中学生の職場体験も経験し、若い世代の考えなどを学ぶためです。また、政治を身近に感じ、興味を持ってもらうことや他では経験できないことを学生時代にやってほしいからです。今期は30名が参加してくれました。

